


実践事例



(4) 授業実践

ア 本時の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・「刑を終えて出所した人」の人権に関する「現状」や「人権を支援し、擁護するために活動している機関等」について知る。(知識的側面) ・「刑を終えて出所してきた人」の社会復帰の為に「主体的に関与」している人から、「他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性を養い、自分の今後の考えや行動に触れることができる。(価値的・態度的側面、技能的側面) ・話し合い活動や感想文の記入などを通して、他人の話を「能動的に傾聴」し、考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、また、的確に理解することができるような伝え合い、分かり合うためのコミュニケーションの能力を養う。(技術的側面)
--

イ 授業の実際

	学習活動	教師の発問等
導入 5分	<p>1 本時の学習の目的を知る。</p> <p>1 アンケートの結果を知る。 2 興味のあるテーマから人権について考える。</p> <p>活動1 「人権」の言葉を使わずに人権を説明しよう。</p> <p>・ワークシートに記入 (30 秒) →ペアトーク (1分 30 秒)。 →2人発表する。</p>  <p>【生徒の意見を聞いている様子】</p>	<p>・最初に自己紹介、アンケート記入のお礼をした。 ・本時の目的を簡潔に話した。</p> <p>・生徒にはリラックスして考えてもらった。 ※生徒の活動後に授業者はどう考えたかを話した。</p>
	<p>・人が人として生きるための権利 ・人が生まれながらにもっている権利で誰からも奪われたり傷つけたりされないもの。 ・人間がみんな安全に安心して暮らせるということ。</p>	
展開 35分	<p>2 アンケートの結果を見て、読み取れることを知る。</p> <p>3 「刑を終えて出所した人の人権」について考える。</p> <p>・「刑を終えて出所した人の人権」についての説明を聞く。</p> <p>活動2 「刑法犯、検挙人員中の再犯者人員・再犯者率の推移」(H29、法務省)を見て、読み取れることを考えよう。</p>	<p>・それぞれ、プレゼンテーションソフトや配布プリントにまとめた資料を使いながら、結果を報告し、そこから読み取れることを簡潔に説明した。</p> <p>・プレゼンテーションソフトを使い、簡潔に説明した。</p>

	<p>・「刑法犯、検挙人員中の再犯者人員・再犯者率の推移」の資料を見て、読み取れることを考え、ワークシートに記入する（1分）。 →周りの人たちと意見の確認をする。（2分） →全体の前で2人発表する。</p>  <p>【意見を確認している様子】</p> <p>4 草刈さんが出ている「職親プロジェクト」をテーマとしたニュース映像を視聴する。（6分）</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>活動3 「草刈さんが、『職親プロジェクト』に参加している心情」や、映像をみて感じたことなどを考え、それを周りのみんなと話し合おう。</p> </div> <p>・視聴した映像を基に、周りの人たちと草刈さんの心情や感じたことを、話し合う。</p>  <p>【話し合っている様子】</p>	<p>・話し合い、2人ほど意見を出してもらった後、教師で読み取れることを説明した。</p> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>・年々、検挙人数自体は減っているが、再犯率が上がっている。</p> </div> <p>・話し合いの状況を見ながら、「進んでない班」に「お互いの感想を読んでみよう」などと伝え活発な話し合いを促した。</p> <p>・話し合ったことなどを全体で発表させた。</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>5 本時の学習内容をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業者の話から「今回の人権課題」を学んで、何を感じ、学んだかを確認する。 ・ワークシートに本時の感想を書く。 	<p>・これからの日常生活につなげることができるよう、活動の振り返りと授業者のまとめを行った。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>・草刈さんが「悲しみ」を胸に抱きつつも、少しでも同じような悲しみをもつ人を減らしたいという気持ちや行動に気づいて欲しい。</p> <p>・いろいろな人権課題を知り、考えることが今の皆さんにとっては将来差別の現場に立った時にしっかりと考え、行動できるよう、いわゆる「予防注射」としての人権教育になり、差別の現実に苦しんでいる人にとっては学び、知ることが「特効薬」としての人権教育になり得、明日への活力になるだろう。これからも折りに触れ、人権について学んで、考えて欲しい。</p> </div>